

福 田

防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド



平成31年1月作成

福田防災福祉コミュニティ

(1) 地域おたすけガイドは、地域の皆さんが災害時に活動する際に、活用するものです。災害時は周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分たちのできる範囲で活動を行うことが大前提です。

(2) 皆さんの災害時の活動をより効果的にするために、これまでに各地域で取り組まれた優良事例を参考に、この地域おたすけガイドを作成しました。

(3) しかし、この地域おたすけガイドに記載している内容は完全ではありません。

ぜひ、皆さんの防コミで訓練などを通して繰り返し検証し、地域に適したガイドにするために、どんどん見直していきましょう。



地震編



3ページへ

風水害編



5ページへ

避難所編



7ページへ

福田防災福祉コミュニティ

地域おたすけガイド

防コミ運営本部設置基準

- ・震度 5 強以上の地震による災害が発生、又は被害が拡大する恐れがある場合。
- ・特別警報が出された場合、又は大雨等で土砂災害警戒情報が発表された場合。
- ・当該防コミ委員長が必要と認めた場合。


活動方針

阪神・淡路大震災の教訓で公的な防災機関がすぐに災害現場に到着できない場合があり、近隣の方々に助けあうことはとても重要です。

しかしながら、周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分達の出来る範囲で防災活動を行いましょう!!

| 防コミ運営本部 設置場所 | 福田地域福祉センター | | |
|-----------------|----------------|-------|---------|
| | 防災資機材庫 設置場所 | 福田小学校 | 菅の口公園 |
| 福田地域福祉センター | | 向陽公園 | 東垂水子供広場 |
| 一時避難場所 | | | |
| 避難所 | 福田小学校 | 福田中学校 | |
| 耐震性防火水槽 | 福田南公園 | 福田西公園 | 東垂水子供広場 |

災害活動手順  8 ページへ (災害活動シート No. 1 ~ 3)

各防災資機材庫・防災マップ  添付資料へ

地震編

□は、その行動が完了したら確認✓（チェック）

1 防コミ運営本部の立ち上げと役割

- 防コミ運営本部に役員が揃わないことが予想されるが、集まったメンバーで本部を立ち上げる。
- 本部に駆けつけた役員の中から統括防災リーダーを決定する。
- 統括防災リーダーは集まってきたメンバーで、情報管理、資源管理などの役割分担を行う。（役割分担などは集結・災害状況に応じて随時見直す）
- 本部に地域の地図、防災マップを配置し、情報を共有するためホワイトボードや模造紙を準備する。
- 地区内の被害情報を集約し、被害状況に応じて各ブロックでの活動の調整を行う。

2 情報収集・伝達

- ラジオ・テレビ・インターネット・防災行政無線など可能な範囲で、地震に関する情報を収集する。
- 余震などの地震情報・地域内の被害状況・安否確認の情報などについて、防コミ運営本部はブロック長・活動班などと連絡をとるようにする。
- ※ 地震時、電話が使用できないと考えた方がよく、伝令も必要になります。

3 各ブロックでの災害対応

- 災害活動が可能な市民は、公園などに設置されている最寄りの「防災資機材庫」や「耐震性防火水槽」などを活用し、二次災害防止のため数名以上で班を編成して防災活動を行う。

4 災害現場での活動（必要に応じて共助として可能な範囲で行う）

(1) 救出・救護

＜活動・注意点は → [災害活動シートNo.1](#)へ＞

(2) 消火活動

＜活動・注意点は → [災害活動シートNo.2](#)へ＞

(3) 安否確認・自力での避難が困難な人の避難支援

＜活動・注意点は → [災害活動シートNo.3](#)へ＞

- ※ 自力での避難が困難な人は、民生・児童委員などと協力して確認。

5 その他

- 必要に応じて、被害情報、活動情報を区役所（708-5151）や消防署（786-0119）に連絡し、公的機関と情報共有を図る。
- 避難所の立ちあげを区役所職員や学校関係者などと協力して可能な範囲で行う。

【参考】

地震発生直後は、まず一番に、個人でできる安全の確保が大切です。訓練などの機会に住民の方に周知しましょう！

- ・ 火を使用している場合は、可能な限り火を止める。
- ・ 揺れを感じたら、丈夫なテーブル下に隠れるなど身の安全を確保。
- ・ 家族の安全を確認。
- ・ 火災が発生すれば消火器等で初期消火。
- ・ ラジオなどで情報の確認。



風水害編

□は、その行動が完了したら確認の✓（チェック）

1 防コミ運営本部の立ち上げと役割

- 防コミ運営本部に役員が揃わないことが予想されるが、集まったメンバーで本部を立ち上げる。
- 本部に駆けつけた役員の中から統括防災リーダーを決定する。
- 統括防災リーダーは集まってきたメンバーで、情報管理、資源管理などの役割分担を行う。（役割分担は集結・災害状況に応じて随時見直す）
- 本部に地域の地図、防災マップを配置し、情報を共有するためホワイトボードや模造紙を準備する。
- 地区内の被害情報を集約し、被害状況に応じて各ブロックでの活動の調整を行う。

2 情報収集・伝達

- ラジオ・テレビ・防災行政無線・スマートフォンなど可能な範囲で気象・土砂災害警戒情報、災害情報を収集する。
 - 気象情報・地域内の被害状況・安否確認の情報などについて、防コミ運営本部は、有線電話・スマートフォンにより、ブロック長・活動班などと連絡をとるようになる。
- ※ 情報伝達の手段や順番をあらかじめ整理しておく必要があります。

3 各ブロックでの災害対応

- 災害活動が可能な市民は、公園などに設置されている最寄りの「防災資機材庫」などを活用し、二次災害防止のため数名以上で班を編成して防災活動を行う。

4 災害現場での活動（必要に応じて共助として可能な範囲で行う）

- 安否確認・自力での避難が困難な人の避難支援
＜活動・注意点は → **災害活動シートNo.3**へ＞

※ 風水害は事前に気象警報などで予測されているため、自主避難の呼びかけや避難支援などの活動を行う場合は災害発生前に完了しておく。

災害発生中(発生の恐れがある場合も含む)は、二次災害防止のため原則として現場活動は行わない。

※ 自力での避難が困難な人は、民生・児童委員などと協力して確認。

5 その他

- 必要に応じて、被害情報、活動情報を区役所（708-5151）や消防署（786-0119）に連絡し、公的機関と情報共有を図る。
- 避難所の立ちあげを区役所職員や学校関係者などと協力して可能な範囲で行う。

【参考】

| 避難情報の種類 | |
|------------------|---|
| 避難準備 高齢者等避難開始 | 大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況である。 |
| 避難勧告 | 土砂災害や洪水などが発生する恐れがあり、命が危険にさらされる可能性が高まっていて、避難が必要である。 |
| 避難指示（緊急） | 災害の前兆現象が発生、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況で、ただちに避難が必要である。 * 大雨などで避難所への避難が危険なときは、崖から離れた2階以上の部屋に避難しましょう。 |

□は、その行動が完了したら確認の✓（チェック）

避難所編

1 避難所への協力

- 避難所の運営は区役所が行うが、区役所職員、学校関係者、災害ボランティアなどと可能な範囲で協力する。
- ※ 女性や子育て家庭、福祉避難所（下記参照）を必要とする方への配慮。
- ※ 救援物資と同様に情報が乏しいため、生活情報の収集と周知。
- ※ 交代で地域内のパトロール。

「福祉避難所」について

神戸市では、避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する方のための二次的避難所として、地域福祉センターや特別養護老人ホームなどを「福祉避難所」に指定しています。

福祉避難所の対象者は、市の保健師が避難所で行う健康調査等をもとに、ご本人やご家族の意向や状況を踏まえ、市が決定します。

要援護者から福祉避難所への直接避難の相談があった場合、区役所（708-5151）へ連絡いただくよう、対応をお願いします。

※福祉避難所の開設は、対象者の人数や施設の状況、対応可能な人員や物資の確保の状況等を踏まえて、市が判断します。災害時に常に開設される訳ではありませんので、要援護者の方を含め、まずは一般避難所へ避難していただくことになります。



救出・救護活動

- 1 ブロック、自治会単位で防災資機材（バール、スコップ、のこぎり、ジャッキ等）を活用し、協力して救出活動を行う。
- 2 救護（応急手当）を実施する。
- 3 安全な場所まで搬送する。

救出・救護手順

1 被害の実態把握

- (1) 倒壊建物などに取り残されている人がいるか、家族や近所の人から情報を得る。取り残された人が直接助けを求めて声を出す場合もある。
- (2) 倒壊状況や内部に進入するスペースがあるか、身体の挟まれ状態など、けがの程度も含めて確認する。
- (3) 二次災害が発生する危険要因がないか確認する。

2 要救助者の救出

- (1) 救出に必要な資機材を準備する。
- (2) 要救助者の近くでは機材を使わず手作業で行う。また、無理に引き出すようなことはしない。

3 応急手当

出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。

4 搬送

簡易担架などで安全な場所まで搬送する。

★ 注意点

- (1) 倒壊が予想されるものは、ロープなどで支持・固定するとともに、木片、ガラス片、鋭利な金属などを除去する
- (2) 火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。ガスの元栓や電気のブレーカーは早期に閉止や遮断を行う。
- (3) 倒壊した建物の内部や近くで活動するのは、非常に危険であるため、二次災害には十分注意を払う。

消 火 活 動

- 1 ブロック、自治会単位で耐震性防火水槽の小型動力ポンプなどを活用し初期消火を行う。
- 2 出火場所を確認し、消火活動人員を割り振る。

消火活動手順

1 消火用水の選定

- (1) 火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側の消火用水を使うなど風向きにも注意する。
 - (2) 河川の水を使用する際は、小型動力ポンプのストレーナーを上流に向けて投入し、浮かび上がらないようにする。
 - (3) 小型動力ポンプから水面までの高低差はC級で7m以内、D級で4m以内を目安とする。
- ※ 火が小さいうちは、消火器やバケツリレーでも消火可能です。

2 ホースの延長要領

- (1) ホースの結合は外れないように確実に行う。
- (2) ホースは大きく曲がったり折れたりすると、本来の消火能力が発揮できず、また鋭利なものに当たると破けるので協力して延長する（ホースを伸ばす）。

3 送水の時期

放水体制が完了したことを必ず確認してから、小型動力ポンプの担当者は送水を開始する。（送水圧力の設定も連携して行う）

4 消火活動

- (1) 放水は初期消火や延焼防止に主眼を置き行う。
 - (2) 筒先は反動力がかかり負担が大きいため、二人で保持する。
- ※ 建物が炎上している場合、1線だけの放水では消火は困難です。

★ 注意点

消火活動で燃えている建物内に入ることは大変危険です。
×絶対に止めてください。

安否確認

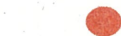
自力での避難が困難な人の避難支援

- 1 安否情報の収集、安否不明者の確認を行う。
- 2 避難する必要があるが、自力での避難が困難な人の避難支援を行う。

安否確認手順

- 1 **建物の確認**
建物に甚大な被害がないかを確認する。
- 2 **呼びかけ確認**
インターフォン、ノック、呼びかけにより安否を確認する。
- 3 **庭、勝手口などの確認**
玄関側から状況が把握できないときは、庭や勝手口などからの確認を試みる。
- 4 **確認シールなどの貼付**
確認した状況に応じ、玄関ドアの右上部付近にシールなどを貼付し明示する。

シールの色分け



救助・支援の必要あり



安否の確認できず



確認済み・支援の必要なし

避難支援手順

- 1 **避難支援**
避難所などに避難する必要があるが、自力での避難が困難な人を車イスや簡易担架なども活用し、避難の支援を行う。

これより以降のページは添付資料です

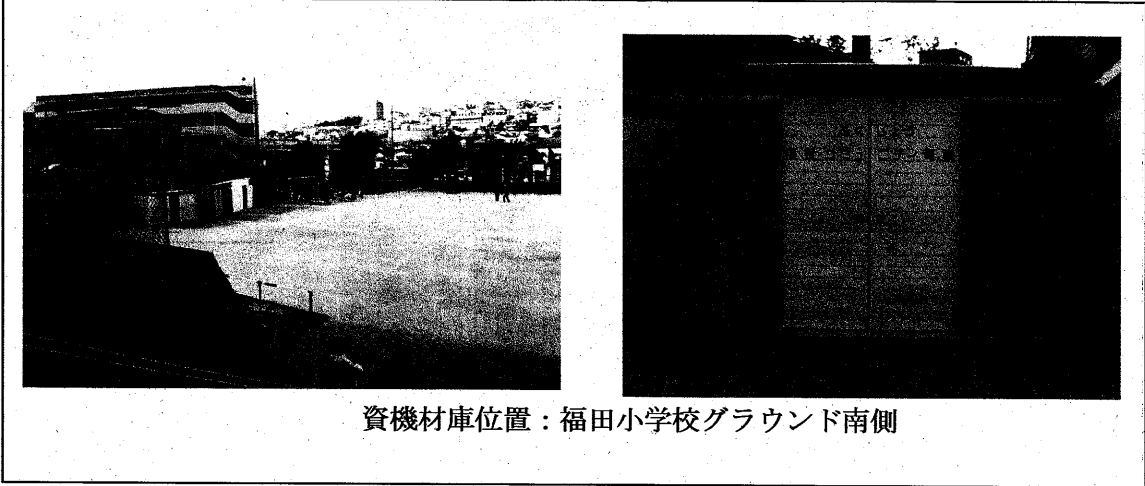
☆ 各防災資機材庫

- 福田小学校グラウンド
- 福田地域福祉センター
- 菅の口公園
- 向陽公園
- 福田西公園
- 東垂水子供広場

☆ 防災マップ

防災資機材庫

所在地 | 福田小学校 (乙木3丁目3番) グラウンド



資機材庫位置：福田小学校グラウンド南側

防災資機材

| | 資 機 材 | 数量 |
|----|--------------------|----|
| 1 | 扇風機 | 1 |
| 2 | 冷蔵庫 | 1 |
| 3 | いつでもじゃぐち (MD1・MD2) | 2 |
| 4 | ホース | 2 |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| | 資 機 材 | 数量 |
|----|-------|----|
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | | |
| 21 | | |
| 22 | | |
| 23 | | |
| 24 | | |
| 25 | | |
| 26 | | |
| 27 | | |
| 28 | | |
| 29 | | |
| 30 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

鍵の管理者

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|-----|-----|
| 1 | 氏 | |
| 2 | | |

防災資機材庫

所在地 福田地域福祉センター (乙木3丁目3番)



資機材庫位置：福田地域福祉センター内に収納

防災資機材

| | 資 機 材 | 数量 | | 資 機 材 | 数量 |
|----|-------|----|----|-------|----|
| 1 | ヘルメット | 10 | 16 | | |
| 2 | 赤色合図灯 | 8 | 17 | | |
| 3 | 拍子木 | 8 | 18 | | |
| 4 | 緑色ベスト | 11 | 19 | | |
| 5 | | | 20 | | |
| 6 | | | 21 | | |
| 7 | | | 22 | | |
| 8 | | | 23 | | |
| 9 | | | 24 | | |
| 10 | | | 25 | | |
| 11 | | | 26 | | |
| 12 | | | 27 | | |
| 13 | | | 28 | | |
| 14 | | | 29 | | |
| 15 | | | 30 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

鍵の管理者

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|---------------|-----|
| 1 | 福田地域福祉センター管理者 | |
| 2 | | |

防災資機材庫

所在地 菅の口公園 (乙木2丁目18番)



資機材庫位置：菅の口公園北東側

防災資機材

| | 資 機 材 | 数 量 | | 資 機 材 | 数 量 |
|----|------------------|-----|----|-------|-----|
| 1 | 金てこバール | 5 | 16 | | |
| 2 | 両口ハンマー (柄付) | 2 | 17 | | |
| 3 | ショベル | 5 | 18 | | |
| 4 | クリッパー | 1 | 19 | | |
| 5 | 折込式のこぎり | 1 | 20 | | |
| 6 | 油圧ジャッキ (2t) | 2 | 21 | | |
| 7 | ハンドマイク | 1 | 22 | | |
| 8 | ノボリ旗竿 (全国火災予防運動) | 19 | 23 | | |
| 9 | | | 24 | | |
| 10 | | | 25 | | |
| 11 | | | 26 | | |
| 12 | | | 27 | | |
| 13 | | | 28 | | |
| 14 | | | 29 | | |
| 15 | | | 30 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

鍵の管理者

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|-----|---------|
| 1 | 氏 | 公園管理責任者 |
| 2 | | |

防災資機材庫

所在地 | 向陽公園 (向陽1丁目2番)



資機材庫位置：向陽公園北側

防災資機材

| | 資 機 材 | 数量 |
|----|-------------------|----|
| 1 | サーチライト (大2・中1・小2) | 5 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| | | |
| | | |

| | 資 機 材 | 数量 |
|----|-------|----|
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | | |
| 21 | | |
| 22 | | |
| 23 | | |
| 24 | | |
| 25 | | |
| 26 | | |
| 27 | | |
| 28 | | |
| 29 | | |
| 30 | | |
| | | |
| | | |

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|-----|-----|
| 1 | 氏 | |
| 2 | | |

防災資機材庫

所在地 福田西公園 (福田2丁目1番)



資機材庫位置：福田西公園南東側

防災資機材

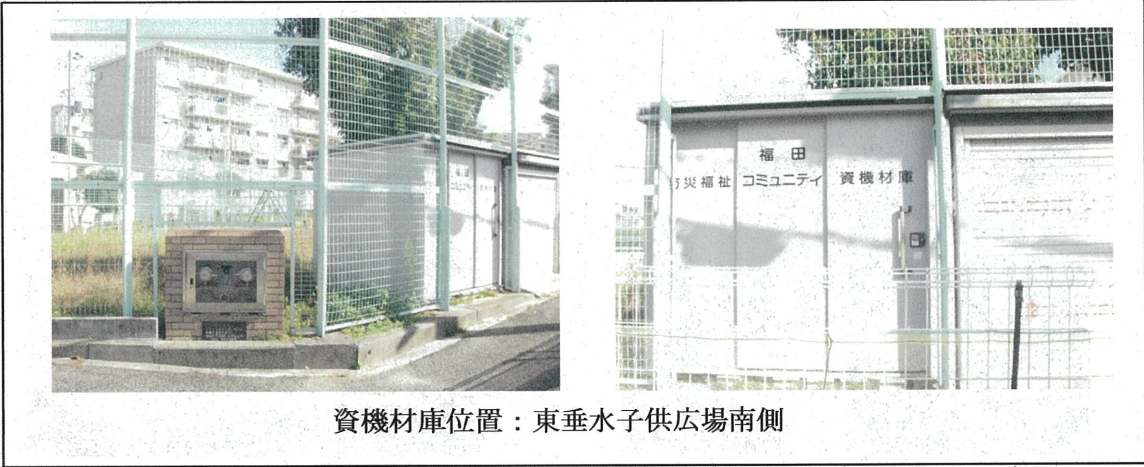
| | 資 機 材 | 数量 | | 資 機 材 | 数量 |
|----|-------------|----|----|-------|----|
| 1 | 金てこバール | 1 | 16 | | |
| 2 | 両口ハンマー (柄付) | 1 | 17 | | |
| 3 | クリッパー | 1 | 18 | | |
| 4 | 替刃式のこぎり | 1 | 19 | | |
| 5 | 折込式のこぎり | 1 | 20 | | |
| 6 | 油圧ジャッキ (2t) | 1 | 21 | | |
| 7 | | | 22 | | |
| 8 | | | 23 | | |
| 9 | | | 24 | | |
| 10 | | | 25 | | |
| 11 | | | 26 | | |
| 12 | | | 27 | | |
| 13 | | | 28 | | |
| 14 | | | 29 | | |
| 15 | | | 30 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

鍵の管理者

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|-----|-----------|
| 1 | 氏 | 防コミ南ブロック長 |
| 2 | | |

防災資機材庫

所在地 東垂水子供広場 (東垂水町 字流田)



防災資機材

| | 資 機 材 | 数 量 | | 資 機 材 | 数 量 |
|----|------------------|-----|----|-------|-----|
| 1 | 金てこバール (大1・小1) | 2 | 16 | | |
| 2 | 両口ハンマー (柄付) | 1 | 17 | | |
| 3 | ヘルメット | 5 | 18 | | |
| 4 | 折りたたみ担架 | 2 | 19 | | |
| 5 | ハンドマイク | 1 | 20 | | |
| 6 | ジャンパー (腕章・帽子)セット | 3 | 21 | | |
| 7 | ジャンパー(帽子)セット | 4 | 22 | | |
| 8 | ジャンパー | 16 | 23 | | |
| 9 | 赤色ジャンパー (ネーム入) | 7 | 24 | | |
| 10 | 腕章 (パトロール) | 94 | 25 | | |
| 11 | 腕章 (防コミ) | 10 | 26 | | |
| 12 | 腕章 (地域安全) | 6 | 27 | | |
| 13 | タスキ (パトロール) | 11 | 28 | | |
| 14 | マグネットシート (パトロール) | 7 | 29 | | |
| 15 | | | 30 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

鍵の管理者

| | 氏 名 | 備 考 |
|---|-----|-----|
| 1 | 氏 | |
| 2 | | |

